



弘前大学



文部科学省

地(知)の拠点

平成26年度採択 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」
青森ブランドの価値を創る地域人財の育成
平成28年度 事業成果報告書



文部科学省

地(知)の拠点



平成26年度採択 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」

青森ブランドの価値を創る地域人財の育成

平成28年度 事業成果報告書





地(知)の拠点

目 次

COC推進室長 挨拶	1
「地域志向」大学改革宣言(学長宣言)	2
1. 事業概要	3
2. 実施体制	7
3. 教 育	13
4. 研 究	27
5. 社会貢献	33
6. 評 価	43
7. アンケート	49
8. 参考資料	61



地(知)の拠点

COC 推進室長 挨拶

弘前大学は、平成26年度に文部科学省「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」に採択されました。本学の事業名は「青森ブランドの価値を創る地域人財の育成」です。本事業を中心に、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献にわたる多様な取組を展開しているところです。

本事業の折り返しにあたる3年目の平成28年度より、地域志向の観点による教育改革が本格的に始動いたしました。新しい教養教育では、青森県の歴史や特色、課題等について学ぶ「ローカル科目」や、現実的な地域課題の解決策を考える「地域学ゼミナール」などを設置し、グローバルな視点を持ちながら、地域課題の解決に取り組む「地域のリーダー」を輩出することを念頭に置いたカリキュラムを展開しております。本学の学生が青森県を愛する気持ちを育み、青森県の新しい未来を切り開く人財となることを大いに期待しております。また、研究や社会貢献の分野においても、地域志向に基づいた取組を引き続き進めており、多数の企業や県民・市民の皆様に参加いただいていることに大変感謝しております。

本学は平成27年度、COC事業をさらに発展させた「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」にも採択されました。青森県内の大学・高専・自治体・企業・NPO等との連携を図りながら、青森県の地域活性化に寄与する「地域創生人財」の育成を進めてまいります。

引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



弘前大学
理事（企画担当）・副学長

吉澤 篤

「地域志向」大学改革宣言（学長宣言）



「地域志向」大学改革宣言（学長宣言）

今日、地域が抱える課題は一層多様・複雑化し、その解決のためには、広範な英知の結集が不可欠です。

こうした中、弘前大学は「知の拠点」となることが「地の拠点」につながると確信し、今後とも地域の課題解決に貢献する一層の取り組みを進め、「世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学」を目指してまいります。

このため、以下の方針を本学の教職員、学生諸君と共有し、地域を志向した大学改革を推進することを、学長としてここに宣言いたします。

1. 地域の自治体、企業、経済団体、県民等と多様な連携関係を構築し、地域課題の解決に向けた取り組みを進めます
2. グローバルな視点を持って地域の課題を受けとめ、その解決に取り組む人材を育成します
3. イノベーションの創出に寄与する学際的研究、共同研究等を地域と共に進めます
4. 地域の人々の「学び直し」の機会を提供するとともに、学生が協働する地域活動を進めます
5. 大学の国際化を加速し、多様性（diversity）ある大学づくりを進めます

平成26年12月5日

弘前大学長

佐藤 敬